

まちの日記帳



働き方・職場定着を考える 人材確保セミナー

1/21

後志総合振興局が主催する「地元就職促進に向けた人材確保セミナー（積丹会場）」が総合文化センターで行われ、商工会関係者など町内外から28名が参加しました。

株式会社ワーク・ライフバランス（東京都）の講演のほか、2社による事例紹介が行われました。

参加者は、中小企業ならではの働き方改革や若年者、女性のための雇用環境改善などを学び、自らの職場や働き方を考えながら真剣に耳を傾けていました。



離乳食の基本を学ぶ 「離乳食教室」

1/24

妊娠期から1歳未満の子どもがいる家族を対象とした離乳食教室が総合文化センターで行われ、3組の母子が参加しました。

今回も講師には、栄養士の神山悦子さん（余市町）を迎え、離乳食の進め方や赤ちゃんの成長について学びました。また、離乳食作りのデモンストレーションや離乳食の試食もあり、味付けや食材のやわらかさの目安など、大人のごはんとの違いを実感することができました。

お母さんたちは、日ごろ感じている子育ての不安や利用できる資源の情報交換なども行い、交流を深めていました。



楽しい時間をお届け 美国婦人会が慰問

1/30

美国婦人会（魚屋友子会長）による慰問が特別養護老人ホーム「ゆうり」で行われ、同施設入居者が歌や踊りを楽しみました。

入居者の皆さんは、この慰問活動を楽しみにしており、当日は、14名の婦人会の皆さんが歌や舞踊を披露しました。

会場は手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、一体となって盛り上がりました。



交通事故防止へ誓い新たに 交通安全指導員出初式

1/31

平成31年積丹町交通安全指導員会（的場無縫会長）の出初式が行われました。

美国神社で交通安全祈願を行った後、総合文化センターで式典を行い、松井町長、余市警察署谷村署長から感謝と激励の挨拶がありました。また、的場会長からは交通事故防止の誓いを新たに、交通安全宣言がありました。

当町は、1月31日現在で交通事故死ゼロが6,743日となっており、北海道知事からは平成30年の町内での交通事故死ゼロ、また、町民が他市町村で交通死亡事故を起こさなかった「パーフェクト市町村」としてお礼状が贈られました。今後もこの記録が途切れないよう、交通安全に心がけましょう。



新しい学び方を目指して 小学校3校の遠隔合同授業

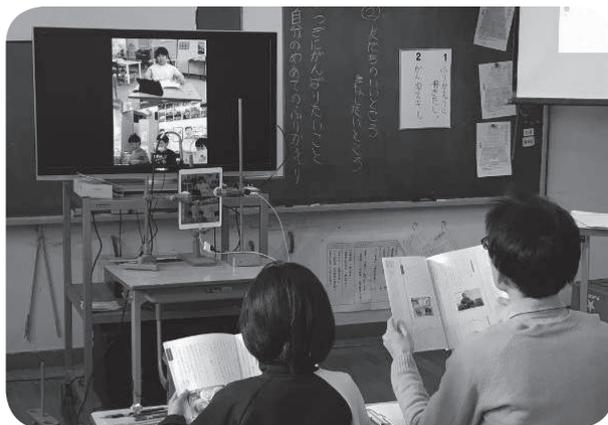
2/1 2/5

2/12 2/20

野塚・日司・余別小学校の3年生6名が、iPadを活用し、自校に居ながら3校で同じ授業を受ける、遠隔合同授業を行いました。

児童は、板書の内容やお互いの姿を画面を通じて確認しながら、自分の意見を伝えたり、教員からの問いかけに答えていました。

小規模校の日々の授業で不足しがちな多様な意見に触れる機会を増やし、学習効果の向上につなげるねらいで、今後も継続して取り組んでいきます。



“いい物” 当たって！ プレミアム商品券スタンプラリー抽選会

2/2

プレミアム商品券スタンプラリー抽選会が総合文化センターで行われ、家族連れなど多くの人で賑わいました。

この抽選会は、町商工会が販売するプレミアム商品券に付いていたラリー抽選券に取扱加盟店でスタンプを集めると抽選ができるもので、この日は571枚の応募がありました。

景品には、32社の協賛により、商工振興会商品券や加盟店賞など173本が用意され、名前が呼び上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。

